校長あいさつ

檜枝岐長中学校長　　橘　成美

会津駒ヶ岳や燧ヶ岳など2000m級の山々に囲まれ、尾瀬国立公園の玄関口として豊かな自然と共存し、「檜枝岐歌舞伎」を代表する伝統や文化を大切にしている村です。

本校の校舎には**「みんなのねがい　真・善・美」**が掲げてあります。

「真」とは、本当。本物。偽りがないこと。まこと。

「善」とは、正しいこと、よいこと。

「美」は、心や行いが美しいこと。

まっすぐな心で、良いことを進んで行う美しい心をもってほしいという地域の人や先生方の願いが込められたものです。

今年度は、この願いを基本とし、新たな教育目標を設定いたしました。

教育目標【目指す学校】

郷土を愛し、夢に向かって学び続ける子ども

◇　**探求する児童生徒**　＜探究心を高め、思考力・判断力・表現力の育成＞

◇　**まっすぐな児童生徒**　＜望ましい人間関係を築く力の育成＞

◇　**きたえる児童生徒**　＜健康で安全の意識を高め、自己管理能力の育成＞

本校の子供たちは、「15歳の春」を迎えたとき、中学3年生を卒業したと同時に高校進学のために檜枝岐村を巣立ちます。そこで、9年間の学びを小中学校の職員が全体で指導していくために、平成24年から「小中一貫教育」を推進し今年度で5年目を迎えます。施設一体型の一貫校にするために校舎の改築から始まり、教育課程の見直し、合同行事の実施、合同職員会議、小中学校教員による授業の乗り入れなど、試行錯誤しながら一つ一つの課題を解決してきました。また、村当局の先進的で温かいご支援とご協力により、IC教育が整備され、電子黒板やタブレットを活用できる環境が整備されており、児童生徒は、先進的で効率的な授業を受けることができます。

今年度は、小学校5．6年生において、中学校教員の協力により、一部を教科担任制や小中学校教員のTTによる授業など、基礎基本を大切にした取り組みが小学校から中学校へつながること、子供と子供のつながり、児童と生徒のつながりを意識して授業の質的改善に向けて努力しております。

地域を生かした郷土学習やキャリア教育、国際理解教育の充実など、卒業までにたくさんの体験をさせることをとおして、自信をもって送り出すよう取り組んでおります。

また、本校では社会的自立と夢の実現を目指した「24の力」(別紙参照)を設定し、教育目標の具現化をめざすとともに、日々の生活の中で24の力の育成をめざしております。

それらの達成に向けて「チーム檜枝岐」として、小中学校の職員が一丸となって取り組んで参ります。